【ふじみこども園】
とうきょう すくわくプログラム

1. みんなで 理想の池を考えよう

令和８年９月３日

とうきょう すくわく プログラム
こどもの「すくすく×わくわく」をおうえん

ふじみこども園では、数年前に職員の手で園庭に池を作りましたが、放流したメダカはなかなか繁殖せず、池に対する意識も子どもたちはもちづらいようでした。

そこで、５歳児ふぁいと組の子どもたちと「どうしたら園庭の池に生き物が集まるのか」「みんなの考える理想の池とは？」をテーマに、みんなで意見を出し合い、考える活動を行いました。保育者が問いを投げかけると、子どもたちは自身の今までの経験から考えたことや、知っていることを言葉にする姿が見られました。

問い①
「どうして今の池では、メダカが元気に暮らせないんだろう？」
⇓

「探究」の姿
「砂とか葉っぱが入って、水が汚くなっちゃうからじゃない？」「何かに食べられちゃってる？」「そんな生き物見たことないけどなぁ」など、自分の考えを言葉で出し合う姿が見られました。





問い②
「園庭にどんな池ができたらわくわくする？」
⇓

「探究」の姿
「メダカ！」「カエル！」「ドジョウ！」など、自分の知っている水辺の生き物を出す姿や、「トンボは水に卵を産むから、トンボが来るようになったらいいな」「隠れ家になる石とか草とかが必要だよ」など、経験や知識から考える姿がありました。

学年での活動後も、図鑑を見ながら水辺に住む生き物を調べて紙にまとめ、園長先生に飼育の許可をもらおうとする子どもたちの姿が…



みんなでの池作りに「わくわく」好奇心や期待をもち、調べたり考えたりして探究を楽しむ姿が見られるようになりました！　→次回へ続く